

いつまでもお元気で

長寿を祝い感謝をこめて敬老会

町主催による敬老会が10月22日、総合福祉センターで開催されました。

この敬老会は、町内に居住する71歳以上の方を対象に、長寿のお祝いと永年のご苦労に対する感謝の意を表すため、毎年行われているものです。

式典では、町内各地区から集まった245名の参加者に、池部町長と新田町議

会議長より「激動の時代を

乗り越え、本町の基礎を築いてこられた皆さんに感謝

します。年金問題など大変な時代になりましたが、い

つまでも元気で過ごしてください。」とお祝いの言葉が述べられ、参加者を代表し

て町老人クラブ連合会会長の小林實さん（幾寅）が謝辞を述べられました。

祝宴では、町婦人団体連

絡協議会やJAふらの南富

良野支所女性部、町赤十字奉仕団の方々が用意した赤

飯や豚汁などの料理が振舞われ、参加者の皆さんは、

幾寅保育所園児や協力団体の方々による踊りを見ながら、楽しく過ごされていました。

ご協力いただきました各団体の皆さんに紙上をもつてお礼申し上げます。

なお、諸般の事情により昨年からの「長寿番付」掲載を取りやめておりますので、ご了承ください。

JR北海道から

金山中学校と幾寅婦人会に「感謝状」

北海道旅客鉄道株式会社では、毎年10月14日の「鉄道の日」を記念して、道内各地で多年にわたり、駅周辺の環境美化など奉仕活動をされている方々に感謝状を贈呈しており、今回、金山中学校（関口昌文校長）と幾寅婦人会（佐藤圭子会長）に感謝状が贈られました。

10月21日、JR富良野駅の荒谷駅長が金山中学校を

訪れ、生徒会長の鹿野晃弘くん（3年）に同社長からの感謝状が伝達されました。

また同日、役場会議室において、幾寅婦人会の五日市七重総務部長に同社営業推進本部長からの感謝状が

伝達されました。

金山中学校は、19年間にわたって毎年春と秋の2回

全校生徒と教職員が金山駅舎の清掃と周辺のごみ拾いを行っており、また、幾寅婦人会は、24年間にわたつ

て幾寅駅舎の清掃と花壇の整備を毎年続けられた実績がそれぞれ評価されました。

